

## 令和3年度 指定管理者年度総合評価表

(令和3年4月～令和4年3月実施分)

作成日	令和4年5月30日
-----	-----------

### ■指定管理者概要

施設名	八戸市児童科学館・八戸市視聴覚ライブラリー		
所在地	八戸市類家四丁目3-1		
施設概要	《設置目的》子どもたちの科学する心を育てる児童科学館と、学校教育・生涯学習のための視聴覚教材の制作・貸出し・研修を行う視聴覚センターの機能をもつ。三八視聴覚教育協議会の視聴覚ライブラリー業務も行っている。 《建物構造》鉄筋コンクリート造 2階建 PH1階 プラネタリウム・視聴覚室・スタジオ・天体観測室		
指定管理者	名称	三八五ふれあいネット 三八五交通株式会社 代表取締役 小笠原 修 三八五バス株式会社 代表取締役 安達 清幸	
	代表者	三八五ふれあいネット	
	所在地	八戸市城下四丁目19-15	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設使用許可及び視聴覚教材教具貸出事務</li> <li>・観覧料徴収事務</li> <li>・施設の運営に関する事務</li> </ul>		
市所管課 (問合せ先)	教育委員会 総合教育センター		
	電話	0178-46-0521 (直通)	
	E-mail	edcenter@city.hachinohe.aomori.jp	

### ■指定管理者による自己評価

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設の設置目的を理解し、各種法令等を遵守した上で、関係機関と連携を図りながら、地域密着型教育を推進し、学校等での教育活動を支援できた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ビニルシートの設置・プラネタリウム観覧人数制限・工作メニュー及び定員の制限・動画チャンネルの解説・セルフ工作の実施・工作キットの販売・定期的な換気・消毒作業に取り組むなど、安全・安心を最優先に可能な範囲での運営を行った。</li> <li>2. プラネタリウムでは、定員を半分程度にする、座席間隔を広くする、投影間隔を空ける、常時換気扇を動かす等の感染症拡大防止対策を講じながらの投影となった。団体向けには、同じ時間帯に複数の団体を受け入れないようにした。一般向けには「熟睡プラ寝たリウム」の定期投影や子供向けプラネタリウム特別投影に取り組んだ。</li> <li>3. 視聴覚ライブラリーの利用率向上に向け、三八管内市町村教育委員会や小・中学校を中心に当館所有の視聴覚教材等の周知活動を行った結果、前年度を上回る利用があった。</li> <li>4. 皆既月食に合わせて特別観望会を開催し、天文教育の普及に努めた。</li> <li>5. 緊急時動員体制、情報連絡体制及び安全確保についてのマニュアルを作成し、災害に対して全職員が共通理解を図った。また、関係機関と連携し、地震及び火災を想定した訓練を実施したほか、毎日敷地内外を巡回し、異常の有無を確認した。</li> <li>6. 改善点を見直し、よりよい施設運営を目指すため、職員による自己評価を実施した。</li> <li>7. 各種オンライン研修に積極的に参加し、職員の資質向上に取り組んだ。</li> </ol> <p style="margin-top: 10px;">以上のことから、指定管理者として新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限努めつつ、各種法令等を遵守した管理運営を適切に実施するとともに、職員各自が参画意識をもち、企画を実施することができた。</p>
----	---

今後の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の知識・技能の習熟を図り、指導力の向上を図る。</li> <li>2. 観覧対象に合わせた番組作りを行い、プラネタリウムの充実及び多様化を図る。</li> <li>3. 児童科学館の活動をより知ってもらうために、これまで以上に館外活動に注力する。</li> <li>4. 各教育機関・関係団体の声を最大限に生かし、「施設の新しい魅力づくり」を行う。</li> <li>5. 災害等の緊急事態に素早く対応できるように、職員の危機管理能力の向上を図る。</li> <li>6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、安全・安心を最優先にしながら企画を開催する。</li> </ol>
-------	---

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自作のプラネタリウム番組の投影に加えて、「熟睡プラ寝たリウム」等の特別投影を開催するなど、魅力あるプラネタリウム番組を提供した。また、休館措置の際はネット科学館で自作プラネタリウムや実験の動画を配信したり、工作キットを窓口で販売したりするなど、制限がある中でも、より多くの市民に科学の楽しさを伝えるために試行錯誤しながら事業に取り組んでいた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として、館内での工作では、職員が指導して制作する従来の形式に加え、動画やプリントを見ながら完成させる「セルフ工作」を提供した。それにより工作のメニューを増やすことができ、より多くの子供たちに学びの場を提供することができていた。</li> <li>・密を避けながら天文教育の普及を目指すために、天体観測室と屋上を開放し、日中の金星観測や、望遠鏡の特徴を学ぶ八戸の景色観望会を行っていた。</li> <li>・学校等へ出向いての天体観測や工作教室等を積極的に行い、利用者の増加に努めている点について大いに評価できる。</li> <li>・常に各事業について改善を図り、新しい取組を模索する等、前向きな運営に努めている。</li> </ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間延長や休館日を減らす等、市民サービスの向上に努めていた。 ・平日・日祝日は1時間30分延長し8:30から17:00まで、第2・4土曜日は4時間30分延長し8:30から20:00まで開館した。
法令の遵守	○	法令、条例や運営規則、施行規則を確認しながら業務を遂行していた。
適正な人員配置	◎	業務基準書に示された水準以上の管理運営をするために必要な人員及び資格者を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容のとおり1名雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容のとおり地域貢献活動が行われていた。 ・科学であそぼう in ラピア出展
従事者の教育・研修	◎	接客・接遇についてやげがへの対処法等、定期的に研修会を行っている。

緊急事態への対応	◎	緊急事態の対応マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書は適切に管理保存されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告、事業報告、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	観覧料等の徴収事務が適切に行われていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	市で示した基準どおりに減免が行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	—	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（平成29～令和3年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（平成29～令和3年度）に引き続き、次期（令和4年度～8年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	書類の届出が適切に行われた。 ・教育委員会承認事項に関わる届出は適切に行われた。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （条件の変更、入場拒否はなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として利用者数の制限を行った。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な業務が適切に行われていた。

## 2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
開館日数	△	前年度より開館日数が減少した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館期間があった。 令和2年度 264日 令和3年度 231日
入館者数	○	入館者数が前年度より増加した。 ・ゴールデンウィーク企画などを実施できたため、休館期間はあったが、前年度を上回ることができた。 ・感染症拡大防止対策を講じ、入館人数、工作内容、プラネタリウム定員等に制限を設けて開館した。 令和2年度 36,339人 令和3年度 37,858人

<p>プラネタリウム 観覧者数</p>	○	<p>観覧者数が前年度より増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールデンウィーク期間や冬休み期間に特別投影を実施できたため。</li> <li>・11月・12月に団体観覧が多かった。(休館期間に予定していた団体が日程を変更したものを含む)</li> </ul> <p>令和2年度 7,665人 令和3年度 7,974人</p>																																			
<p>施設利用状況</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日を中心に天体観測室で金星等の観望会に取り組んだ。</li> <li>・各部屋の座席数を半分に制限する、利用後に消毒・換気を行うなどの感染防止対策を行った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="625 515 1452 772"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタジオ</td> <td>1件</td> <td>8人</td> <td>3件</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>視聴覚室</td> <td>44件</td> <td>817人</td> <td>54件</td> <td>752人</td> </tr> <tr> <td>実習室</td> <td>22件</td> <td>323人</td> <td>31件</td> <td>267人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>7件</td> <td>58人</td> <td>5件</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>天体観測室</td> <td>10件</td> <td>108人</td> <td>48件</td> <td>1,642人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>84件</td> <td>1,314人</td> <td>141件</td> <td>2,720人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度		令和3年度		スタジオ	1件	8人	3件	3人	視聴覚室	44件	817人	54件	752人	実習室	22件	323人	31件	267人	講義室	7件	58人	5件	56人	天体観測室	10件	108人	48件	1,642人	合計	84件	1,314人	141件	2,720人
	令和2年度		令和3年度																																		
スタジオ	1件	8人	3件	3人																																	
視聴覚室	44件	817人	54件	752人																																	
実習室	22件	323人	31件	267人																																	
講義室	7件	58人	5件	56人																																	
天体観測室	10件	108人	48件	1,642人																																	
合計	84件	1,314人	141件	2,720人																																	
<p>プラネタリウム利用状況</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館期間があった。</li> <li>・定員を半数程度とし、常時換気扇を作動させ、投影終了後に消毒作業を行うなどの感染防止対策を行いながら投影した。</li> <li>・七夕期間等の団体での観覧が混み合う時は、換気・消毒時間を設けるために投影間隔を長くする、複数団体を同時に受け入れないなどの対策をとった。</li> <li>・「キッズプラネ」や「熟睡プラ寝たリウム」等、年齢層に合わせた特別番組の投影を行った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="625 1120 1452 1355"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人観覧者数</td> <td colspan="2">4,860人</td> <td colspan="2">4,944人</td> </tr> <tr> <td>団体観覧者数 (上段減免、下段有料)</td> <td>74件</td> <td>2,017人</td> <td>83件</td> <td>2,210人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0件</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>減免観覧者数</td> <td>84件</td> <td>753人</td> <td>107件</td> <td>820人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">7,630人</td> <td colspan="2">7,974人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度		令和3年度		個人観覧者数	4,860人		4,944人		団体観覧者数 (上段減免、下段有料)	74件	2,017人	83件	2,210人		0件	0人	0件	0人	減免観覧者数	84件	753人	107件	820人	合計	7,630人		7,974人						
	令和2年度		令和3年度																																		
個人観覧者数	4,860人		4,944人																																		
団体観覧者数 (上段減免、下段有料)	74件	2,017人	83件	2,210人																																	
	0件	0人	0件	0人																																	
減免観覧者数	84件	753人	107件	820人																																	
合計	7,630人		7,974人																																		
<p>視聴覚教材貸出し状況</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三戸郡への教材の無料宅配、八戸市内学校・公民館へメール便の活用、保育園、児童館への定期貸出等に取り組んだ。</li> <li>・小学校及び公民館での活用が増加した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="699 1541 1366 1758"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16ミリ映画</td> <td>21本</td> <td>32本</td> </tr> <tr> <td>ビデオ教材</td> <td>19本</td> <td>7本</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>480本</td> <td>541本</td> </tr> <tr> <td>機材</td> <td>38機</td> <td>55機</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>558本</td> <td>635本</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	16ミリ映画	21本	32本	ビデオ教材	19本	7本	DVD	480本	541本	機材	38機	55機	合計	558本	635本																	
	令和2年度	令和3年度																																			
16ミリ映画	21本	32本																																			
ビデオ教材	19本	7本																																			
DVD	480本	541本																																			
機材	38機	55機																																			
合計	558本	635本																																			

自主事業及び委託事業の実施状況

◎

- ・委託事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせた事業もあるが、わくわくサイエンス、青少年のための科学の祭典、市民星空観望会、移動天文教室、親子パソコン教室、少年少女発明クラブ、天文クラブの7の事業を実施した。各教育機関との連携を密にしたほか、八戸天文同好会、科学であそび隊、星好きんず等、地域のボランティア団体及びその他の有識者や市民と協力して事業を実施した。
- ・2つの研修会や講座を企画し実施した。映像利用学習会では、映像や視聴覚資料を活用した講演会を開催した。視聴覚担当者連絡会は、資料を郵送する形で情報提供を行った。
- ・自主事業として8の事業を行い、延べ13,726名の参加と10,313回の視聴があった。皆既月食等、天文現象に合わせた観望会を開催した。また、動画チャンネルでは、展示物や科学実験・工作の作り方を公開した。館内での工作は、職員が指導して制作するものに加え、動画やプリントを見ながら家族で完成させるセルフ工作を提供した。これらの事業を通じて、市民の科学する心を育んだ。

自主事業	参加者数（再生回数）
科学館 KIDS 工房	11,047 人
科学館 KIDS 工房（工作キット販売）	841 人
児童科学館 YouTube チャンネル開設	(10,313 回)
GW お楽しみ劇場	89 人
出張 KIDS 工房	294 人
皆既月食観望会	100 人
金星・屋上観望会	1,304 人
出前映写会	51 人
合計	13,726 人 (10,313 回)

<p>その他の取組 (運営に関する工夫)</p>	<p>(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)                  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため以下の対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日 12 時と 16 時に全館消毒作業と換気を行い、12 時～13 時、16 時以降の入館を不可とした。</li> <li>・貸館等での各部屋利用後に消毒作業と換気を行った。</li> <li>・入館時に手指の消毒・検温を行い、マスクの着用をお願いした。</li> <li>・CODE8 への登録を促し、万一のときも連絡が取れるようにした。</li> <li>・流行期には来館者名簿へ記載してもらった。</li> <li>・団体利用時は、複数団体を同一時間帯での受け入れは行わず、利用後の消毒作業と換気を徹底した。</li> <li>・直接の対面を避けるため、受付と工作テーブルにビニルシートを設置した。</li> <li>・プラネタリウム観覧人数を通常（定員 88 名）の半分程度とし、投影終了後室内の消毒作業を行った。</li> <li>・プラネタリウムの投影間隔を長くし、換気・消毒の時間を確保した。</li> <li>・工作メニューの充実と、対面期間制限のため通常の工作と並行してセルフ工作を提供した。</li> <li>・持ち帰り用工作キットを販売し、自宅でも工作を楽しめるようにした。</li> <li>・動画サイトを公開し、自宅でも科学や天文、工作等に触れられるようにした。</li> <li>・わくわくサイエンスなどの企画は定員を従来の半分以下に制限し、1 日 2 回同じ内容の企画を開催した。</li> </ul> <p>◎</p> <p>(出前映写会)                  ・地区公民館で視聴覚教材（DVD・16 mmフィルム）の上映会を開催した。名作映画作品や、16 mmフィルムの上映が好評だった。</p> <p>(屋上・金星観望会)                  ・天体観測室と屋上を開放し、望遠鏡を使って市内の風景や日中に見える金星の観望会を開催した。天文教育の普及と併せて館内への人の密集をやわらげる目的で実施した。</p> <p>(熟睡プラ寝たリウム)                  ・ゆったりとくつろげるプラネタリウムの空間を楽しむため、星座解説は最小限にとどめ、癒しの音楽を聴きながらくつろぐことができる番組を投影した。</p> <p>(出前事業の実施) ※幼稚園、保育園、認定子ども園、小学校、公民館、児童館との連携事業                  ・小学校、児童館等で出前事業を実施した。科学館 KIDS 工房の工作、空気砲や液体窒素の実験ショーを、感染症拡大防止対策をとりながら実施し、児童の科学する心を育むことができた。</p> <p>(館内外の安全管理)                  ・朝夕に敷地内外を巡回し、館内点検を定期的実施した。施設の安全管理と異常箇所の早期発見及び迅速な対応に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉公民館・更生館と合同で避難訓練を実施し、緊急時の対応を確認した。</li> </ul> <p>(職員のスキル向上・研修の実施)                  ・知識・技能の向上を目的に、全国科学館連携協議会が開催するオンライン研修会に参加した。</p>
------------------------------	--

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																													
指定管理業務の収支状況	○	<p>人件費は増加しているものの、維持管理経費の節減、休館措置による事業費及び一般事務費の減により黒字収支となった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">収入①</td> <td>利 用 料 金</td> <td>963,000</td> <td>556,560</td> <td>563,360</td> </tr> <tr> <td>指 定 管 理 料</td> <td>36,116,000</td> <td>36,116,000</td> <td>36,036,000</td> </tr> <tr> <td>自 主 事 業 繰 入 金</td> <td>0</td> <td>23,863</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス対策補助金</td> <td>0</td> <td>32,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>修 繕 料 繰 越 金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,079,000</td> <td>36,728,423</td> <td>36,599,360</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人 件 費</td> <td>24,420,000</td> <td>25,238,838</td> <td>27,443,121</td> </tr> <tr> <td>維 持 管 理 経 費</td> <td>7,365,000</td> <td>6,919,277</td> <td>7,027,889</td> </tr> <tr> <td>事 業 費 ・ 一 般 事 務 費</td> <td>3,323,000</td> <td>1,890,009</td> <td>1,525,725</td> </tr> <tr> <td>租 税</td> <td>1,971,000</td> <td>2,536,346</td> <td>2,357,581</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,079,000</td> <td>36,584,470</td> <td>38,354,316</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①-②-③)</td> <td>0</td> <td>143,953</td> <td>△1,754,956</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	963,000	556,560	563,360	指 定 管 理 料	36,116,000	36,116,000	36,036,000	自 主 事 業 繰 入 金	0	23,863	0	新型コロナウイルス対策補助金	0	32,000	0	修 繕 料 繰 越 金	0	0	0	計	37,079,000	36,728,423	36,599,360	支出②	人 件 費	24,420,000	25,238,838	27,443,121	維 持 管 理 経 費	7,365,000	6,919,277	7,027,889	事 業 費 ・ 一 般 事 務 費	3,323,000	1,890,009	1,525,725	租 税	1,971,000	2,536,346	2,357,581	計	37,079,000	36,584,470	38,354,316		次年度修繕料繰越金③	0	0	0		収入－支出(①-②-③)	0	143,953	△1,754,956
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																											
収入①	利 用 料 金	963,000	556,560	563,360																																																											
	指 定 管 理 料	36,116,000	36,116,000	36,036,000																																																											
	自 主 事 業 繰 入 金	0	23,863	0																																																											
	新型コロナウイルス対策補助金	0	32,000	0																																																											
	修 繕 料 繰 越 金	0	0	0																																																											
	計	37,079,000	36,728,423	36,599,360																																																											
支出②	人 件 費	24,420,000	25,238,838	27,443,121																																																											
	維 持 管 理 経 費	7,365,000	6,919,277	7,027,889																																																											
	事 業 費 ・ 一 般 事 務 費	3,323,000	1,890,009	1,525,725																																																											
	租 税	1,971,000	2,536,346	2,357,581																																																											
	計	37,079,000	36,584,470	38,354,316																																																											
	次年度修繕料繰越金③	0	0	0																																																											
	収入－支出(①-②-③)	0	143,953	△1,754,956																																																											
自主事業の収支状況	○	<p>適切な収支で事業が実施されていた。</p> <p>総収入 846,950 円 (前年度実績 743,880 円)</p> <p>総支出 821,587 円 (前年度実績 690,786 円)</p> <p>収 支 25,363 円</p>																																																													

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者満足度調査及びその結果を活かす仕組みができていた。 ・利用者アンケートの月ごとの集計結果を館内に掲示していた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等を広報やホームページ、施設だより等で積極的に周知していた。 ・市内小・中学校及び幼稚園・保育園等に、館だよりでイベントや自主事業について情報を伝えていた。
苦情・要望等の受付体制	○	利用者ご要望ボックスを設置し、苦情・要望等の受付体制を明示していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に対し適切に対応していた。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	コストの削減に努め、環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	福祉公民館のエレベータ及び2階連絡通路を利用することで、プラネタリウムや展示物を体験できることを説明し、必要に応じて案内を行った。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者による外部評価を実施し、改善点を見直しより良い施設運営を目指していた。</li> <li>・利用者アンケート結果に関して、問題点の克服に向けた取組を検討した。</li> </ul>			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月例報告書等により、運営・収支状況等のモニタリングを行った。遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	5回	4月7日	所長・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の業務報告、令和3年度の運営の見通しや今後の予定について報告を受けた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえた運営について</li> <li>・修繕等に関わる設備の確認</li> </ul>
		6月10日	GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況の確認</li> <li>・夏休みのイベントの確認</li> </ul>
		9月1日 (中止)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から
		11月17日	所長・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況の確認</li> <li>・修繕等に関わる設備の確認</li> </ul>
		2月8日	所長・GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の事業の振り返り</li> <li>・令和4年度の計画・企画について意見交換</li> </ul>
	実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた事業や内容について、適正な管理運営を行っていた。</li> <li>・出張 KIDS 工房や移動天文教室、天文現象に合わせた皆既月食観望会などの事業に精力的に取り組む、参加者の増加に努めていた。</li> <li>・市民からの要望を真摯に受け止め、施設の整備をする等適切に対処していた。</li> </ul>				

※GL：グループリーダー